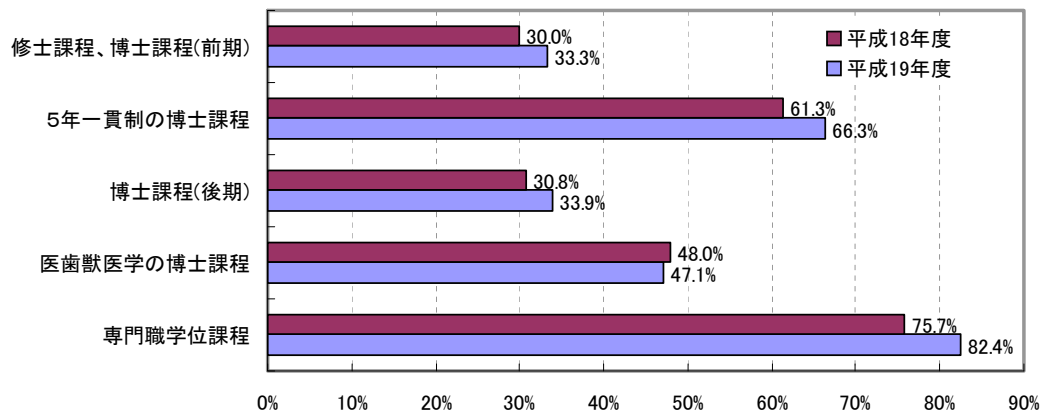
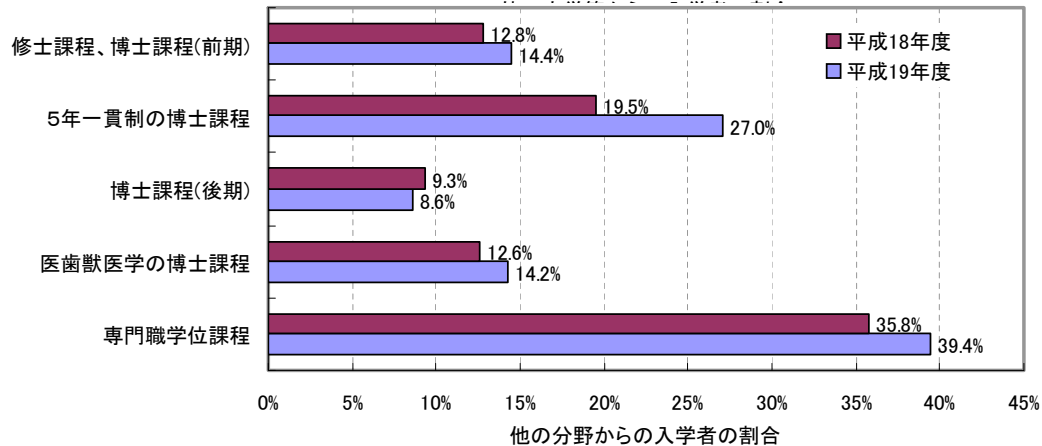


図表11 他の大学等・分野からの入学者の割合

他の大学等からの入学者の割合

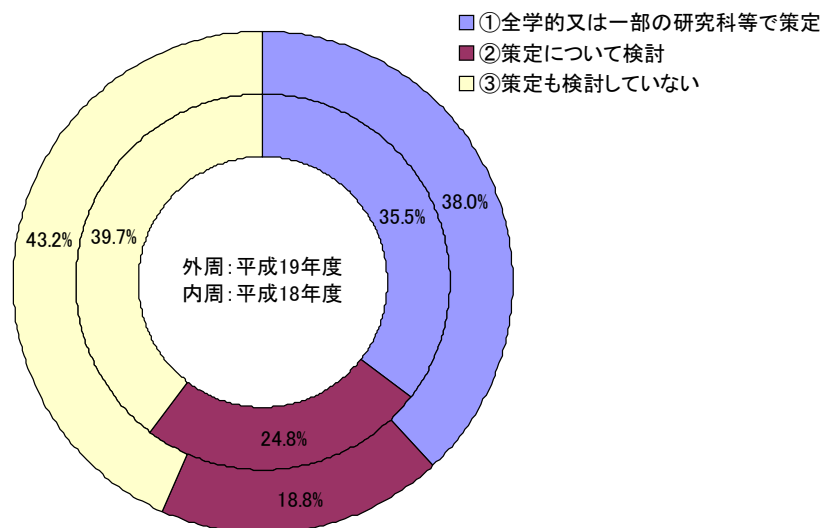


他の分野からの入学者の割合



出典：平成19年度大学院活動状況調査（平成20年12月）、平成18年度大学院活動状況調査（平成19年7月）

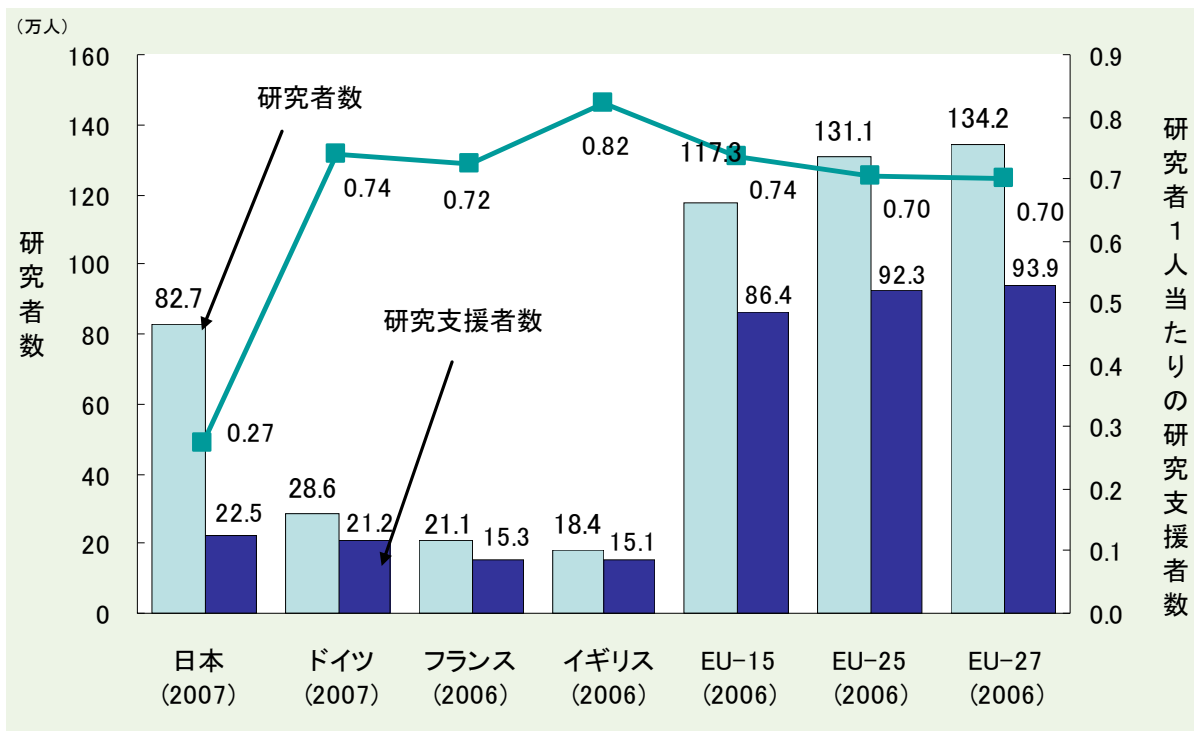
図表12 補完的な教育プログラムに関する取組



取組例：

- ・ 学士課程の授業科目、博士前期課程の授業科目の履修を認めている
- ・ 教育研究上必要な能力を習得、向上させるための講座の開講、履修形態の提供
- ・ 留学生や他大学生に対して教育研究上必要な能力を補完するための講座を開講
- ・ 入学前に補習を目的とする講座を開講
- ・ 学生が効率的に自習し、あるいは講義を受けられるシステム、体制を整備

図表13 主要国における研究者一人当たりの研究支援者数



注) 1. 国際比較を行うため、各国とも人文・社会科学を含めている。
 2. EU-15とEU-25はOECDの推計値である。
 3. 研究支援者とは、研究者を補助する者、研究に付随する技術的サービスを行う者及び研究事務に従事する者で、日本では研究補助者、技能者及び研究事務その他の関係者である。

(出典) 日本 総務省統計局「科学技術研究調査報告」、その他はOECD「Main Science and Technology Indicators」

図表14 研究支援者に対する研究者・有識者の意識

・日本の代表的な研究者・有識者430名に日本の科学技術の状況について意識調査を実施

・質問に対して6点尺度で評価を行い、その回答を重み付けし、数値化 「1」(不十分) → 「10」(充分)

○大学における研究資金の状況 2.8

○大学における研究スペースの状況 3.1

○大学における研究支援者の状況 1.9

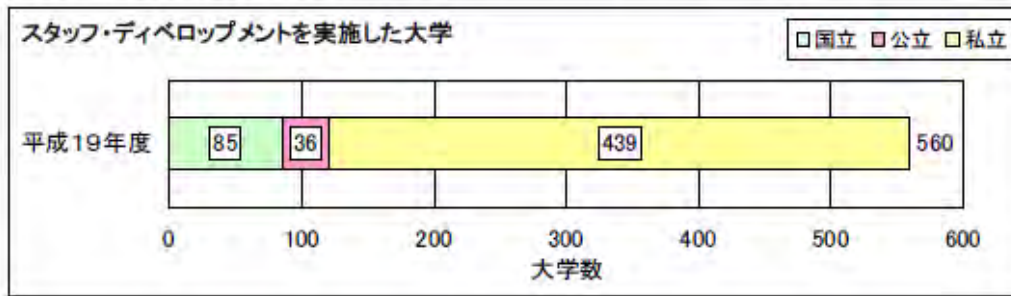
出典:「科学技術の状況に係る総合的意識調査」(2008年)

図表15 大学における教育内容等の改革状況について

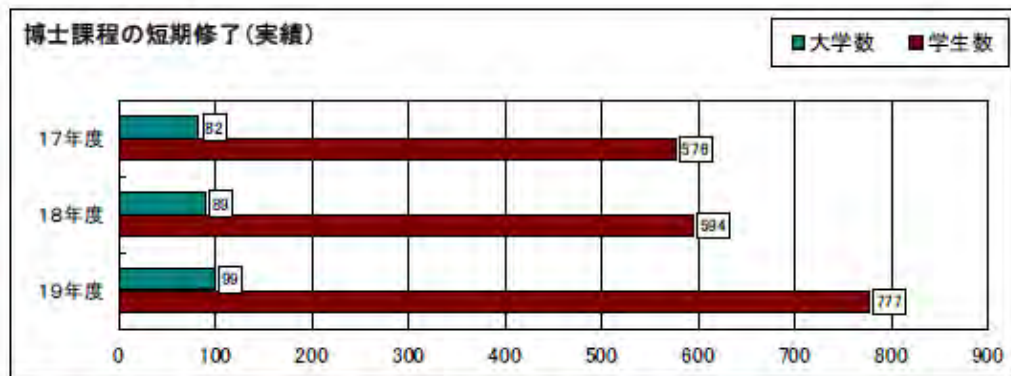
(平成21年3月文部科学省調査・抜粋)

＜スタッフ・ディベロップメント(職員の職能開発)の実施状況＞

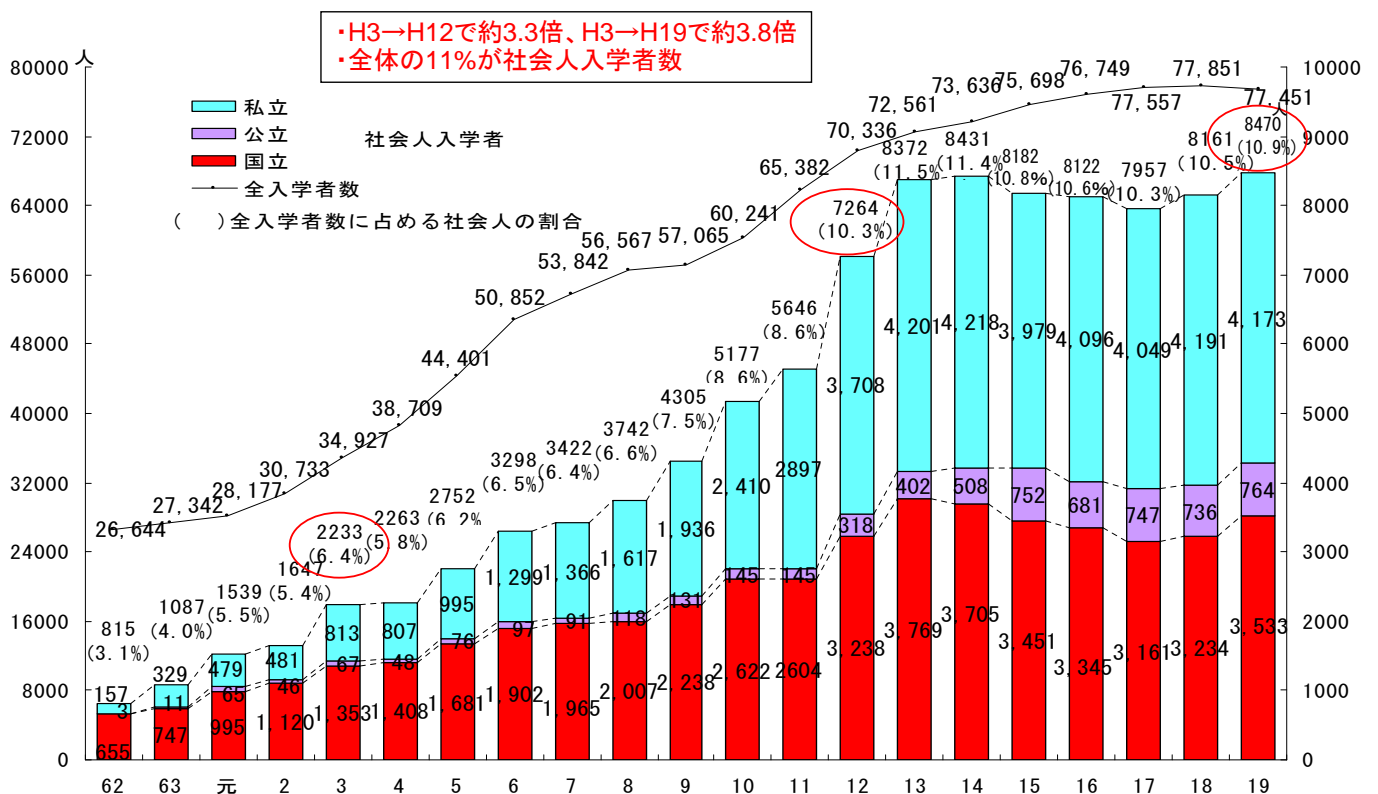
スタッフ・ディベロップメント(職員の職能開発)を実施している大学は、平成19年度現在、560大学(約75%)の大学が実施している。



＜大学院博士課程における短期修了の状況＞

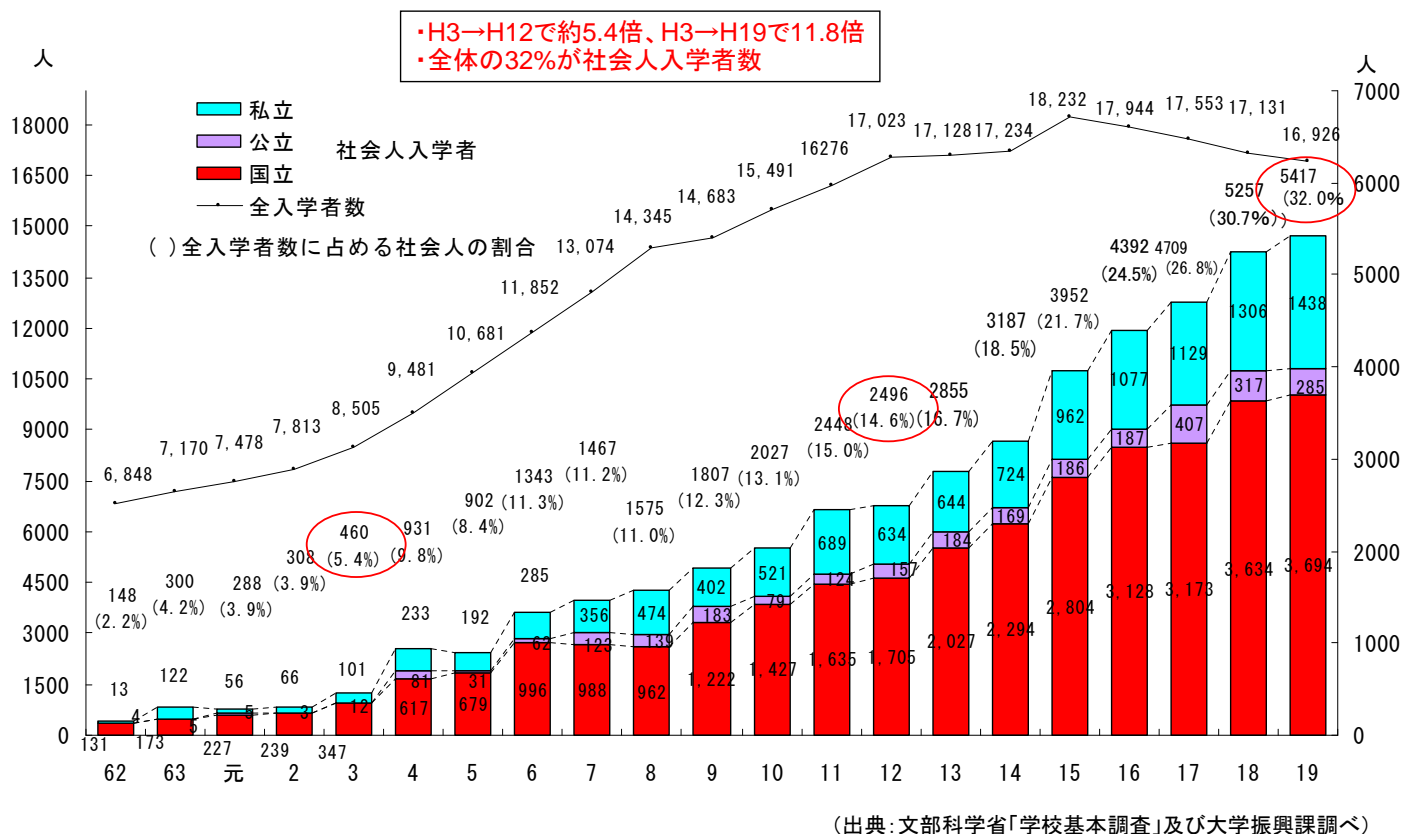


図表16 修士課程への社会人受入れについて

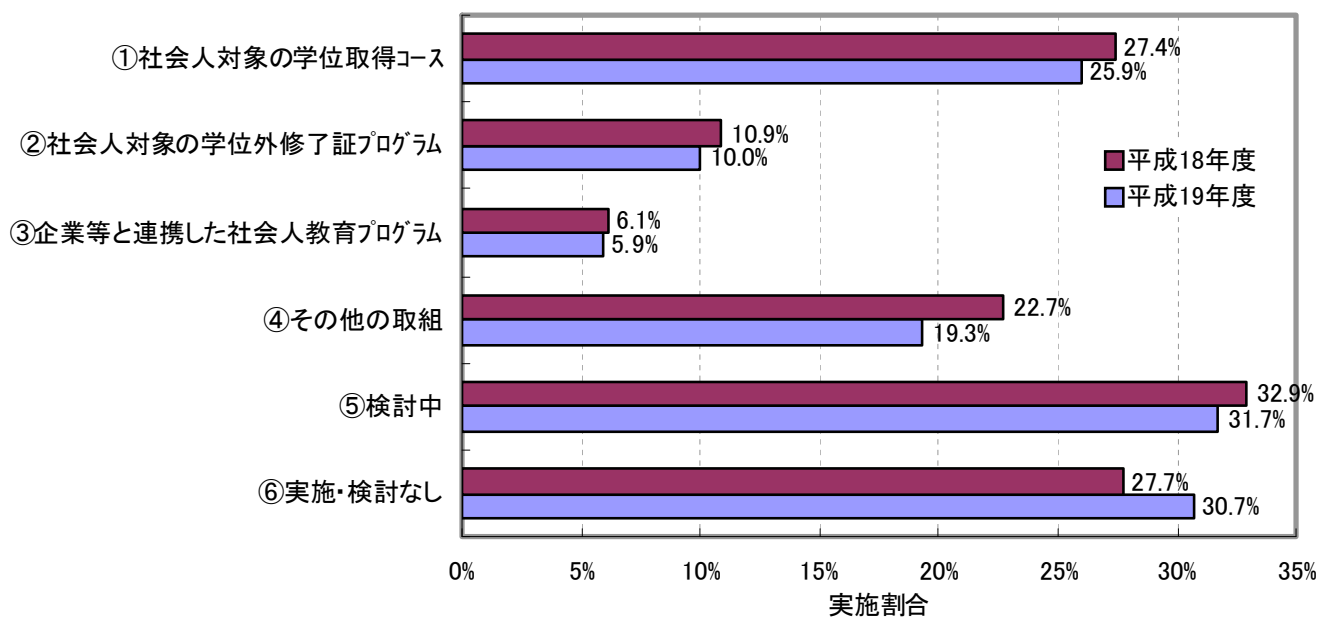


(出典:文部科学省「学校基本調査」及び大学振興課調べ)

図表17 博士課程への社会人受入れについて



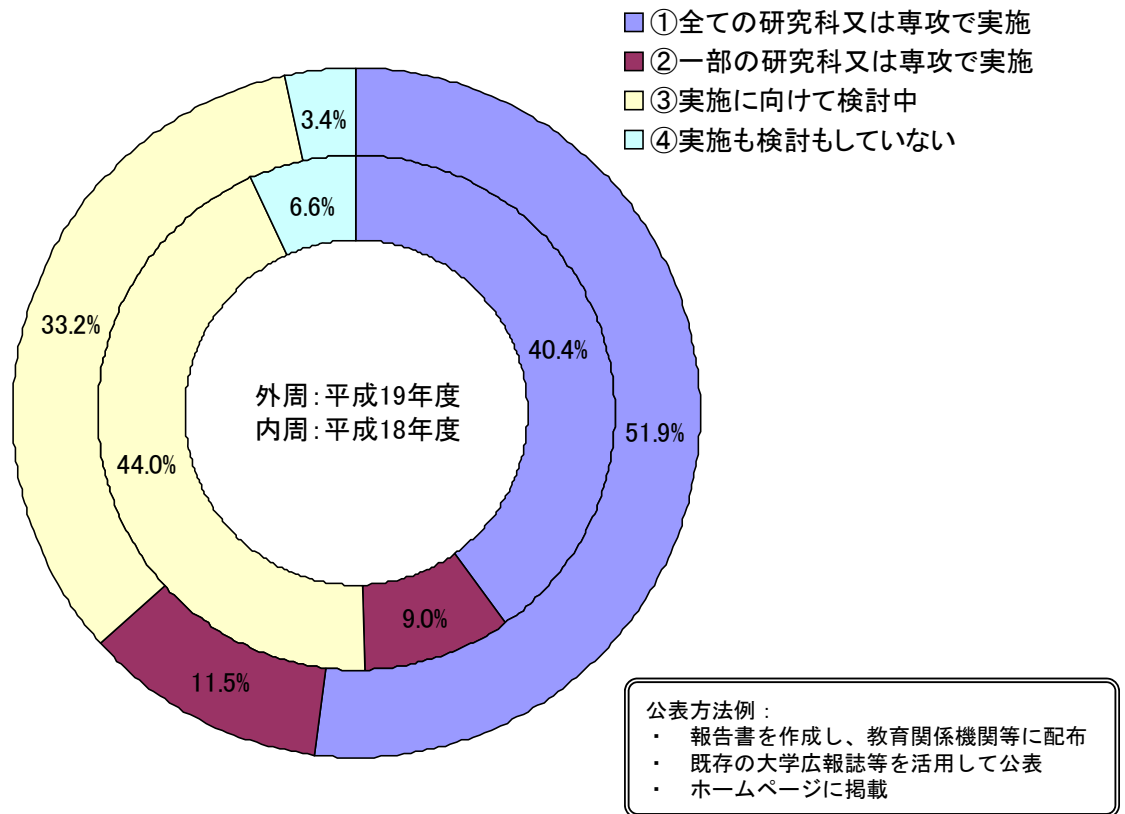
図表18 リカレント教育に関する取組



その他の取組例:

- ・ セミナー・聴講生制度の実施
- ・ 開講時間の弾力化

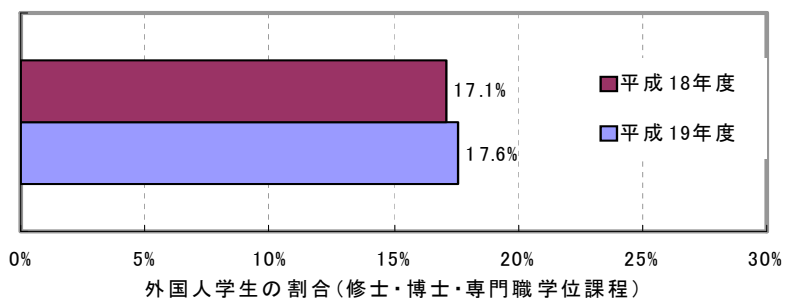
図表19 専門分野ごとの自己点検・評価の実施状況



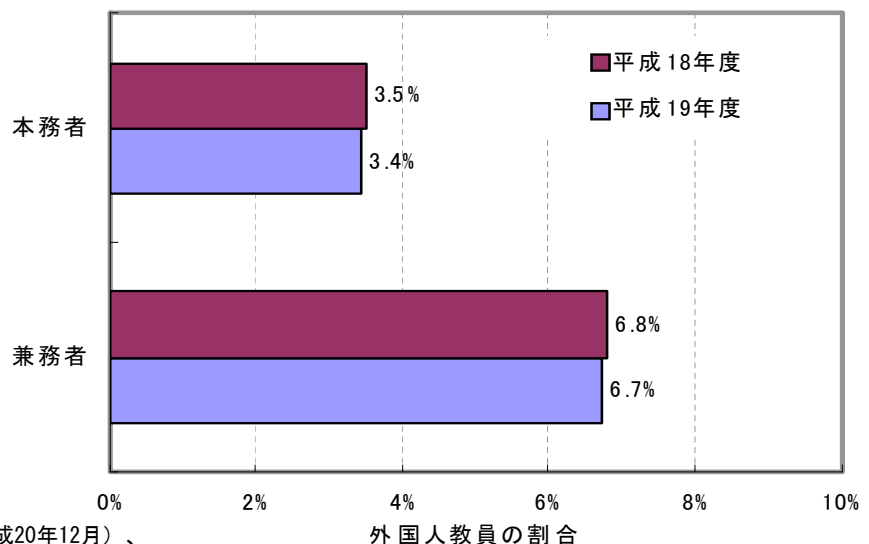
出典：平成19年度大学院活動状況調査（平成20年12月）、平成18年度大学院活動状況調査（平成19年7月）

図表20 外国人学生、外国人教員の受け入れ状況

外国人学生の割合



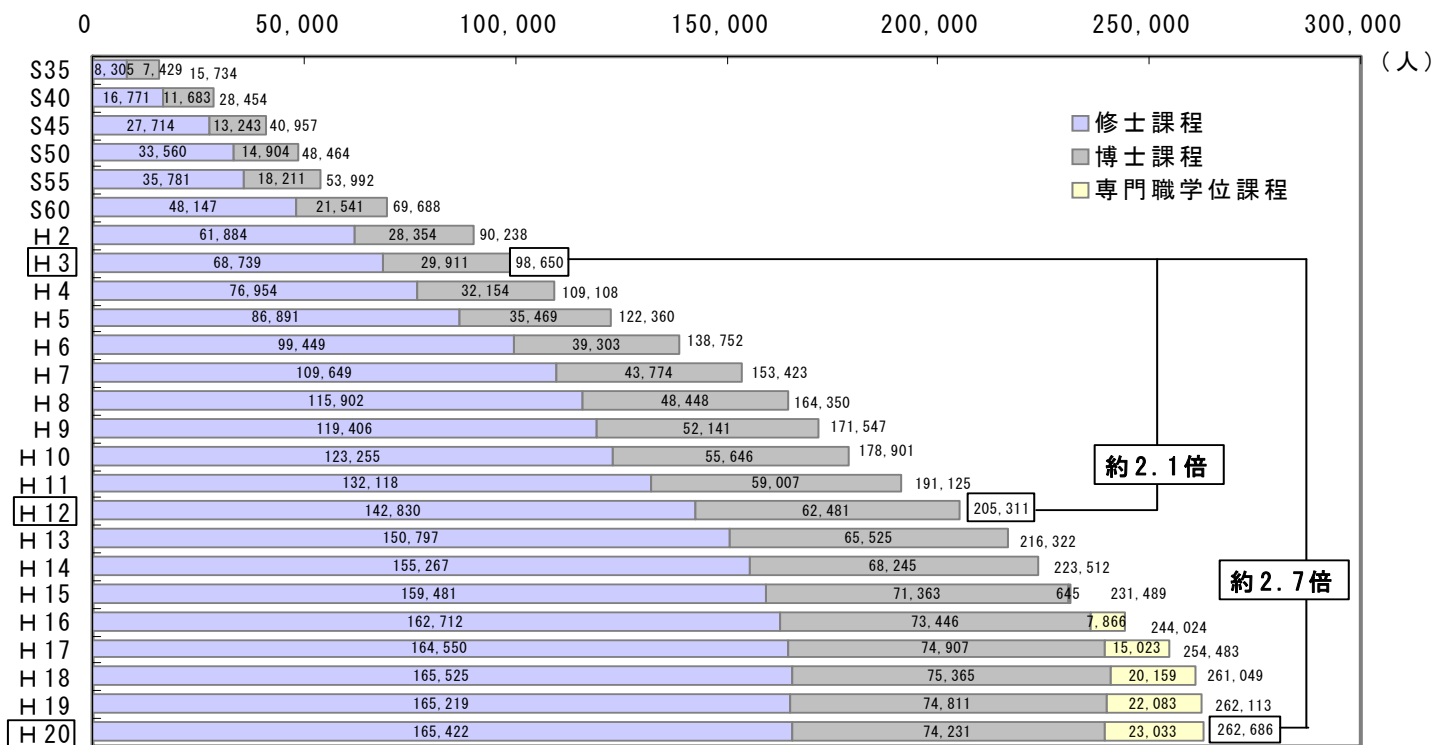
外国人教員の割合



出典：平成19年度大学院活動状況調査（平成20年12月）、平成18年度大学院活動状況調査（平成19年7月）

図表2-1 大学院在学者数の推移

(各年度5月1日現在)



※ 在学者数

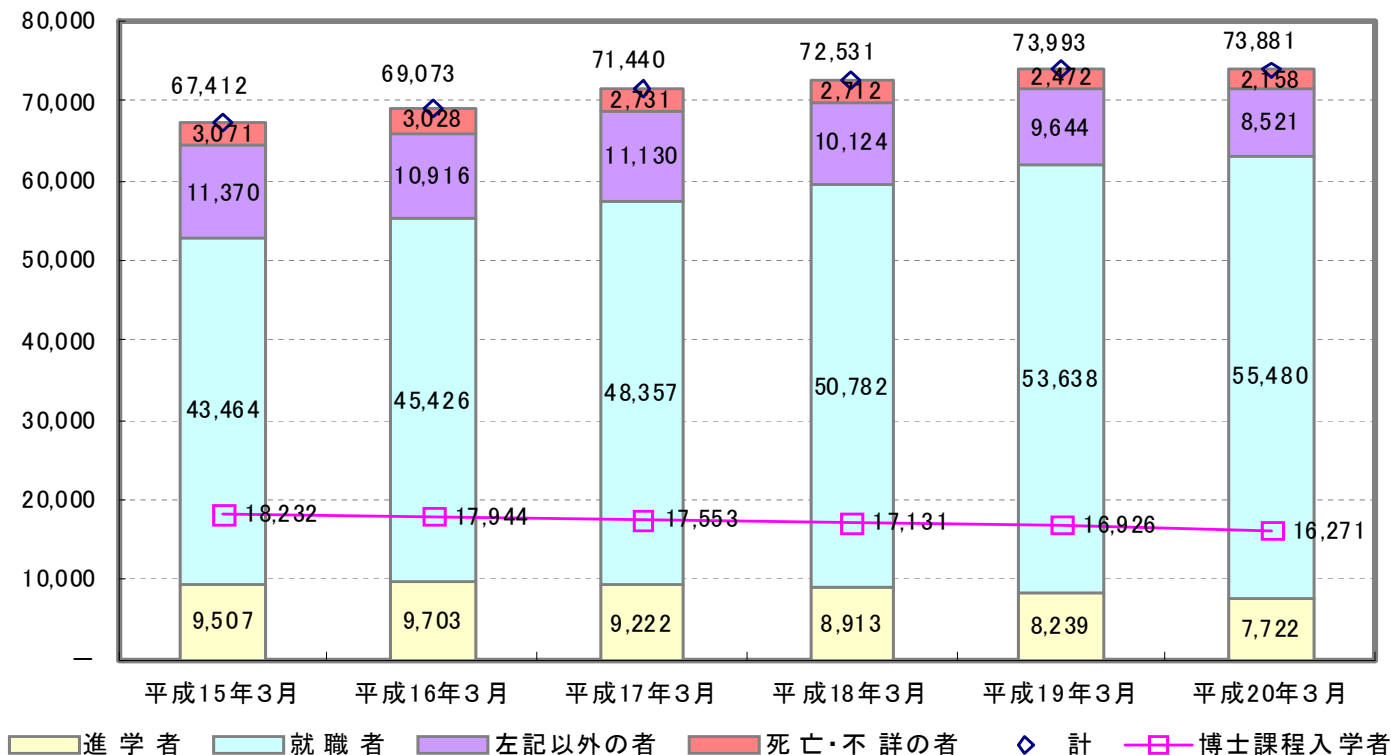
出典：学校基本調査

「修士課程」：修士課程，区分制博士課程（前期2年課程）及び5年一貫制博士課程（1，2年次）

「博士課程」：区分制博士課程（後期3年課程），医歯獣医学の博士課程及び5年一貫制博士課程（3～5年次）

通信教育を行う課程を除く

図表2-2 修士課程修了後の進路の状況と博士課程入学者の推移



(出典：文部科学省「学校基本調査」)